

飼料高騰による畜産業の経営は



さとう よしふみ 佐藤 好文 議員

Q 食料も原料も輸入のなか飼料代を低入荷では経営は大変、市の独自策の検討は。

A 飼料高騰緊急支援金について、対象者に対し令和4年度中に支援金を交付したいと考えております。また、畜産農家を含む支援として、一律5万円を支援する香取市物価高騰対策農業者支援金について、2158件の支援を行ったところです。なお、令和5年度当初予算に畜産振興事業費として300万円を計上し、畜産農家の経営安定に資するため優良牛、優良豚の導入について酪農、肉牛、養豚の各団体を通じ支援を行いたいと考えております。

Q 市として補聴器の助成制度の検討は。

A 聴覚障害者の助成制度については、国の制度として各自自治体で実施されていますが、加齢に伴う難聴は対象外となっております。市町村独自の実施となります。加齢に伴う難聴用の補聴器購入費助成については、高齢者のニーズおよび国や他の市町村の動向を

注視しながら研究してまいりたいと考えております。

Q 平成31年4月から支所の取扱い業務を見直し本庁扱いになりました。変更前の支所扱いに改善はできないか。

A 支所における取扱い業務については検討を続けてきたところであり、令和5年4月から死亡届の受付、死体埋火葬許可証および火葬場使用許可証の発行について、山田支所および栗源支所において取扱いができるよう準備を進めているところです。なお、デジタル技術を導入しての窓口対応については、引き続き検討してまいりたいと考えてお



栗源支所



山田支所



きむら ひろし 木村 博 議員

米政策(地産地消)による子育て支援について

Q 子育て世帯への米の無償支給(現物)はできるか。

A 香取産米の消費拡大と、現在、食料品や教材品などの教育資金の価格が高騰して経済負担が増している中、子育て世帯への経済的支援の観点からも有効な施策として、子育て世帯の求めるニーズや財源確保などの課題もあることから、今後検討してまいりたいと存じます。

取市のおいしい米を米消費も兼ねて、無償支給(現物)としてはどうか。

香取市の水田農業の今後の見通しは

Q 燃油や肥料・農薬など農業資材が高騰、高齢化による営農継続が困難(離農)な状況での対策は。

A 市の単独事業として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、香取市物価高騰対策農業者支援金を行っています。

意見 物価高騰の折、子育て世帯の支援を香



子育て世帯に香取市産のおいしいお米を



学校給食の様子

ります。

Q インフルエンザの予防接種助成制度の拡充と近隣市町村の実施内容は。

A 現在、65歳以上の高齢者などを対象に接種費用の1500円を助成する定期接種を実施しています。令和3年度の接種実績は接種率53.0%であり、令和4年度1月末時点における速報値においては、接種率52.8%となっています。香取海浜地域では、1000円から2000円程度の助成が行われており、接種率はおおむね50%前後です。今後は、近隣市町村の動向を見ながら研究します。